

<休道の詩>

「休道の詩」とは、「道^いうことを休^やめよ他郷苦辛多しと」(『生まれ育った故郷を離れて、学問を続けることがつらい』と嘆くのはやめなさい)で始まる、塾生たちが協力して勉学に励むことを願って、淡窓先生が詠んだ漢詩です。

市内咸宜小学校では、子どもたちが、心をひとつに毎日の勉強や活動に取り組めるよう、全校集会などの機会に、声をそろえてこの漢詩を朗詠しています。



この日はゲストティーチャーの方を迎えて、朗詠の練習をしています

< 凡事徹底 >

淡窓先生が唱えた「治めて後、学ばせる」の言葉どおり、東部中学校では、「凡事徹底」を合言葉に、基本的な生活習慣や生活規律の徹底に取り組んでいます。

日ごろから生徒たちが自分たち自身で、自らの生活習慣を正し、行動を律していこうとする態度を育てています。



生徒たちの意識を高める掲示が校舎内のあちこちに



生徒たちの靴箱はいつもきれいに履物がそろっています